

2013年度 日本文化人類学会 第8回 理事会 議事録 (案)

日時：2014年3月15日(土) 14:00～17:00

会場：大阪大学東京オフィス (東京工業大学キャンパスイノベーションセンター 601号室)

出席定者：小泉、綾部、春日、亀井、窪田、栗本、佐々木、棚橋、出口、松田、三尾、森山、和崎

委任状提出：赤堀、池田、上杉、小田、岸上、清水、曾我、高倉、中谷、山本

〔承認事項〕

1. 2013年度第7回理事会議事録(案)を承認。
2. 新入会員(2名)、賛助会員新入会(1団体)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・2013年度事業計画に則り、文部科学省宛要望書の送付を完了したことを報告。
 - ・東京大学附属図書館情報サービス課より、2013年7月に4大学の協力を得て実施した実地調査の際に、誤って最新号『文化人類学』78号のpp. 1-47.を複写したことへの謝罪と誤って複製した著作物の利用料又は許諾料の支払の要不要について問い合わせがあり、総務会で審議の結果、一切請求は行わないこととしたことを報告。
 - ・W. シュヴェントカー氏(大阪大学教授)より、『民族学研究』掲載論文(岡正雄・八幡一郎・江上波夫「日本民族=文化の源流と日本の国家の形成」『民族学研究』13-3(1949年)239-240頁)の翻訳引用文の掲載許可依頼があり、総務会で審議のうえ承認したことを報告。
2. 総務理事報告
 - ・2014年度人類学関連学会協議会合同シンポジウムのシンポジストが決定したことを報告。
3. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき8件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・『文化人類学』の投稿フォームに不具合が生じており、至急対策を講じ、原因究明と対処方法の検討を実施していることを報告。
4. 第26回評議員選挙管理委員会報告
 - ・栗田博之第26回選挙管理委員長の代理として棚橋理事より、第26回評議員選挙結果を報告。
 - ・2014年4月5日(土)に第1回評議員会を開催予定であること、同評議員会において理事選出(互選)ならびに会長選挙を実施することを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：78巻4号の進捗状況を報告。投稿フォームの不具合に対し、早急に対策を講じる予定であることを報告。
 - ・JRCA編集委員会：Vol. 14の進捗状況を報告。WCAAオープンアクセス誌Déjà LuのIssue 2が公刊されたが、今回諸事情により『文化人類学』およびJRCAからの掲載がないことを報告。次年度からは学会奨励賞受賞論文を掲載するよう次期理事会担当者に申し送ることを確認。
 - ・学会歴史委員会：神奈川大学日本常民文化研究所における「人類学者・民族学者」映像記録の公開に向けて検討中であることを報告。
 - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第48回研究大会の準備状況について報告。
 - ・倫理委員会：倫理規程に関する情報収集及び検討を進めていることを報告。
 - ・文化人類学教育委員会：若手支援検討ワーキンググループにおいて、就職難及び研究の継続困難に直面している若手会員に対してどのような支援が必要かということについて検討を行ったことを報告。支援の必要性和支援策の方向性について以下の提言を行った。これらの報告、提言については次期委員長へ申し送ることとした。

①多様なキャリアパスの確保と定着、その情報共有システムの構築

- ②文化人類学に関係するポストの掘り起こしに向けた情報収集
- ③次世代育成セミナーの見直し
- ④中等教育への参入
- ⑤学会費の負担軽減
- ⑥日本文化人類学会における若手会員らの組織化と情報共有システム構築

6. その他

- ・窪田理事より、日本学術会議地域研究委員会人類学分科会において「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準文化人類学分野」を作成するにあたり、広く意見聴取を行うため「学士課程教育における文化人類学分野の参照基準」に係る公開シンポジウムが4月7日に開催されることを報告。本件についてはJASCA-INFOで配信することとした。

〔審議事項〕

1. 学会賞選考のありかたについて

- ・学会賞選考委員会委員長より、同委員会での検討を踏まえて、学会賞の位置づけと候補者推薦の手続き、学会賞の選考時期、奨励賞の対象論文の選定方法等についての提言がなされ、それに基づいて意見交換がなされた。
- ・同委員会提言を重要検討事項として次期理事会に引き継ぐとともに、学会賞およびその選考のありかたを検討する委員会を学会賞選考委員会とは別個に理事会に設置することを第25期理事会提案として次期に申し送ることとした。

2. 2013年度事業報告案・2014年度事業計画案について

- ・棚橋理事より、資料に基づき2013年度事業報告案・2014年度事業計画案について説明があり、担当部分について確認するよう理事に要請がなされた。
- ・学会の法人化への取り組みについて、これを集中的に検討する委員会を理事会に設置することが妥当である旨、次期理事会に申し送ることとした。
- ・国際情報発信強化への取り組みとこれに係る科学研究費補助金国際情報発信強化(B)の申請について、理事を中心にタスクフォースを置くなどの対応が妥当である旨、次期理事会に申し送ることとした。

3. 2013年度決算案・2014年度予算案について

- ・三尾理事より、2013年度決算案(2月末締暫定案)・2014年度予算案について資料に基づき説明があり、次回新旧合同理事会で引き続き審議を行うこととした。なお、地区研究懇談会において剰余金が生じる場合には早めに連絡するよう要請がなされた。

4. 名誉会員の推薦について

- ・2014年度に日本文化人類学会名誉会員内規第二章、第二条の条件を満たす名誉会員候補資格者1名を名誉会員候補者として推薦することが承認された。なお、例年よりも2014年度総会の開催時期が早いことを考慮し、2014年度総会での推薦受諾の意向確認の作業まで今期理事会で完了したうえで、次期理事会に引き継ぐことを確認した。

5. 学会50周年記念事業について

- ・綾部副委員長より、日本文化人類学会50周年記念事業に関し、学会50周年記念事業準備委員会で確認、検討された次の事項について報告がなされた。
 - ①学会50周年記念国際研究大会の運営業務委託についてICSコンベンションへの委託が決定したことを報告。
 - ②千葉県及び千葉市への交付申請本申請に向け準備を進めていることを報告。
 - ③参加登録が開始されたことを報告。
 - ④寄附金募集、助成の採択、後援名義使用許諾等の状況について報告。
 - ⑤旅費・滞在費補助申請の申し込み状況と現在審査中であることを報告。
 - ⑥5月14日夕刻に開催するレセプションについては幕張メッセのコンベンションホールで開催予定であること、費用について見積内容を報告。
 - ⑦IUAES2014のポスター、チラシを作成し、関係各所へ配布したことを報告。
- ・若手懇談会や各種委員会、課題研究懇談会等、研究大会時に開催する場合には周辺会場を独自に確保してもらうことを原則とすることを学会50周年記念事業準備委員会で承認したことを報告、理事会にお

いても承認された。

- ・小泉委員長より、プログラムがほぼ確定したこととその内容、バンケットの司会者が決定したことについて説明がなされた。また、参加費免除の対象者について説明がなされた。

6. 第 25 期理事・各種委員の任期について

- ・棚橋理事より、第 25 期理事・各種委員の任期に関する次の事項について、第 26 期第 1 回評議員会の審議事項とすることが提案され、承認された。

①学会 50 周年記念事業準備委員会に係る理事・委員は当該事業（事業報告・会計報告を含む）が完了するまで同委員会委員として第 26 期に実働を継続する。

②課題研究懇談会担当委員会委員は 4 月 1 日以降も課題研究懇談会 2013 年度事業実績の査定が完了するまで実働を継続する。

③総務会及び教育委員会委員は第 11 回日本学術振興会賞学会推薦選出の作業が完了する 4 月 16 日まで実働を継続する。

- ・第 25 期・第 26 期の新旧合同理事会は、2014 年度総会までの日程を考慮した結果、4 月 19 日（土）とすることを決定。

- ・各種委員会委員長に新旧合同理事会で配付する「第 26 期への引継事項」の文書化を依頼し、作成した文書については新旧合同理事会に持参し、併せて、事務局および庶務理事宛てにも提出することとした。

7. その他

- ・2013 年度事業報告・2014 年度事業計画案、2013 年度決算・2014 年度予算案について未回答の理事に対し、協力の要請を行った。

以上。